



湧き水ワッキー

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda162号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016年3月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森 (地域の会と協力)	樹林公園
3月	12日 コープみらいかがやき賞授賞式 26日 白子小さくら祭り 27日 (日) カタクリエコツアー	19日 定期保全	12日 白子宿富澤保全 ボランティア体験 16日 大坂保全協力	3月中頃 ヒロハ アマナ 開花
4月	29日 つつじ祭り 湧き水コーヒー店その他	19日 定期保全 23日 タケノコ掘体験	9日 白子宿富澤湧水 20日 大坂保全	

1. 埼玉県みどりの再生活動報告会：埼玉県環境科学国際センター会場 1月29日

27年度県みどりの再生事業として、「白子湧水群の保全ボランティア体験会」を実施し、上記報告会に当会が選ばれて県国際センターで会の活動全般について発表を行いました。まず初めにセンター研究員から「埼玉県における生物多様性保全への取り組み」と題して講義があり、生態系についての基本的な考え方のお話、センターで取り組んでいる自然環境の復元の説明があり、自然環境に接している私達に役立つ講義でした。その後国際センター付属の「生態園」の見学、見学後に代表して3団体による活動報告が行われました。当会の活動報告は、パワーポイントを活用して高橋勝緒さんが発表しました。

「身近な自然を知り、守り、活かす活動」について、湧水環境調査の内容や今後の活用、白子湧水群の保全ボランティア体験など身近な自然を紹介しながら当会のコンセプト「調査—保全—観察会」サイクルを紹介しました。湧水環境報告書については、市内40か所の湧水緑地の特徴、植生、水量、水質の調査結果が記述していること、河川については、通常立ち入れない川に入り流入水や水質等も調査した事などを報告、「ボランティア体験会」については、都市部にある白子湧水群のモニ1000里地調査も含めた、調査—保全—観察会が一つとなった「環境ボランティア」の体験会を紹介しました。最後に、湧水の水質に関する研究にふれ、高橋基之先生も加わった環境センターならではの意見交換が出来ました。和光からは、会から5名午王山の会から1名出席し、県全体広い団体の参加がありました。



国際センター生態園見学



国際センター講義室での勝緒さんの発表



会から5名参加(撮影青木さん)

報告会も含めた事業全体を振り返ると、暑い中での数回行ったボランティア体験会や秋の和光湧き水散歩など小中学生の参加があり、多くの方に協力いただきました。今後の活動にもつながる「ボランティア体験会」を定着させることなど、今回の事業報告と会計の青木・新井さん両名の会計報告を県みどり自然課に届け無事に2月に了承されました。埼玉県内広い視野で報告会に発表できましたが、このような時により多くの参加を今後望んでいます。

2. ■「コープみらい地域かがやき賞」の受賞決定 2月10日

“生活協同組合コープみらい”の社会貢献活動表彰・助成事業「コープみらい地域かがやき賞」を知り、特に白子湧水群の当会の活動「身近な自然を知り、保全し、活かす活動」を応募しました所、大変光栄なことにこの度受賞の連絡を戴きました。多くの皆様のご協力に支えられた受賞決定に心より感謝申し上げます。

